

- コース距離：13.1km
- 歩行時間：4時間

- 1 両国駅
↓ 2.7km
- 2 深川神明宮
↓ 0.6km
- 3 清澄庭園内散策
↓ 1.5km
- 4 富岡八幡宮、深川不動尊（門前仲町）
↓ 1.8km
- 5 相生橋
↓ 0.8km
- 6 住吉神社（佃島）
↓ 1.2km
- 7 勝鬨橋
↓ 1.0km
- 8 波除神社（築地）
↓ 0.6km
- 9 築地市場
↓ 1.5km
- 10 築地本願寺
↓ 0.5km
- 11 歌舞伎座
↓ 0.4km
- 12 銀座和光
↓ 0.5km
- 13 有楽町駅

9 築地市場

東京の台所として世界的に有名な卸売市場で水産物の取引では日本一の取引高を誇る。関東大震災で壊滅した日本橋魚河岸など都内複数の市場が築地にあった旧外国人居留地の海軍省所有地を借りて東京市設魚市場を開設したのが始まり。今では多くの外国人観光客もここを訪れる。2016年11月に、江東区豊洲に移転することが決まっている。



8 波除神社（築地）

明暦の大火後に築地の埋め立てが行われたが、荒波の影響で工事は難航した。ある晩、光を放つご神体が見つかり、それを祀るとその後は工事が順調となった。以降厄除けの神様として信仰を集めることとなった。



7 勝鬨橋

中央区の勝鬨と築地を結ぶ日本では数少ない跳ね上げ式の架道橋だが、現在は機械部への送電を止め、可動部もロックされている。すべて日本人の手で設計施工を行い1940年に完成した。可動部は1950年代初めころまでは1日に5回、1回につき20分程度開いていたが、通航船舶の減少や道路交通量の増加から1970年を最後に開閉が停止された。



6 住吉神社（佃島）

佃島は徳川家康が摂津国佃村から漁民を呼び寄せ干潟を埋め立てさせ、住ませたことに始まる。この地の住吉神社は正保3年（1646年）に摂津住吉大社の分神霊を祀り建てられた。



5 相生橋

隅田川に架かる橋で江東区の越中島と中央区の佃島を結んでいる。明治36年にできた相生橋は関東大震災で焼失したが大正15年に鉄鋼製の橋が再建された。その後、老朽化が進んだため平成10年に現在の橋に架け替えられた。



4 富岡八幡宮、深川不動尊（門前仲町）

富岡八幡宮の門前町として17世紀半ばから栄えてきた。当時は深川永代寺門前仲町と呼ばれていた。深川不動尊は元禄年間に富岡八幡宮境内の永代寺で成田山の不動明王の「出開帳」が行われたことが始まり。永代寺は明治になって神仏分離令により廃寺となったが、明治11年に現在の場所になり不動明王の分霊が祀られた。



Walking Course

快汗ウォーキングコース

両国から、清澄庭園、門前仲町、佃島、月島を経て、築地、銀座、有楽町を歩く半日コース



13 有楽町駅

JRと東京メトロ有楽町線が乗り入れており、銀座への玄関口としてJR、有楽町線を合わせると1日30万人以上の人々が乗降する。日比谷公園や皇居などの観光の拠点ともなっている。



12 銀座和光

銀座の中心にあって時計や高級装飾品を扱う和光。銀座のシンボルともいえる有名な時計塔がある。時計塔には鐘楼があり、店舗の営業時間中の毎時0分には時刻数の鐘を鳴らす。



11 歌舞伎座

明治22年に開場した歌舞伎中心の劇場。火災や戦災などにより4度の立て直しが行われ、現在の建物2013年4月に開館した5代目となる。1980年代までは歌舞伎以外のイベントもおこなわれていたが、現在は原則通年で歌舞伎のみの興業となっている。

10 築地本願寺

京都にある浄土真宗西本願寺の直轄の寺院。もともとは現在の日本橋横山町に建てられていたが、明暦の大火で本堂を焼失し、現在の場所に転移された。関東大震災で再び火災に見舞われ伽藍を焼失したが、1934年に古代インド様式をモチーフにした鉄筋コンクリート造りの現在の本堂が完成した。本堂は国の重要文化財に指定されている。



3 清澄庭園

現在は都営の庭園となっているが、もともとは元禄期の豪商紀伊屋文左衛門の屋敷があった。享保年間には下総閑宿藩主久世氏の下屋敷となり、庭園が築かれた。明治になり庭園は荒廃していたが、三菱創業者の岩崎弥太郎が買い取り、三菱社員の慰安と賓客接待のための庭園造成に着手した。関東大震災の折には近隣住民の避難場所となり、多くの命が救われた。

